



心温まる「卒業証書授与式」に向けて

例年なら、京都市内で雪が降るのは1～2回、場合によってはほとんどない年もあるのですが、今シーズンに限っては1月25日の大雪以降、数回雪化粧を見ることとなりました。夏には異常な暑さが話題となりましたが、これも異常気象の影響でしょうか？

さて、3月を迎え、少しずつではありますが春の訪れを感じるようになってきました。



新型コロナウイルスは下火にはなってきましたが、今シーズンに限っては久しぶりにインフルエンザの罹患が出始めており、8日（水）に公立の中期選抜が控えているだけに受験生にとっては、まだまだ心配なところであり、万全の体調で当日を迎えてもらいたいと思っています。

世間では「マスクの着用」について話題になっています。小栗栖中学校としても15日（水）の第47回卒業証書授与式を挙行するにあたり、卒業生に関してはマスクの着用

を国歌・校歌の斉唱の場面以外は義務付けないこととし、その他の場面での着用についても妨げないこととします。ただし、来賓・保護者につきましては引き続き着用をお願いすることにいたしますのでご理解ご協力をお願いします。いずれにせよ「心温まる卒業証書授与式」となるよう、教職員一同準備してまいります。



卒業証書における「割印」の取扱いについてのお知らせ

卒業証書の割印（証書の上の印）について、京都市教育委員会の方針に基づき、本年度から省略させていただくこととなりました。割印は、卒業証書と卒業証書台帳（卒業生の一覧が記録される帳簿）の関連を証明するため、2つの紙面にまたがらせて押す印鑑です。

押印に法令等の定めはなく、卒業証書と卒業証書台帳の関連も番号や氏名等で関連を証明できるため、押印作業の簡素化や、今後の台帳の電子化等も見据え、本年度より、全市統一で割り印を省略することとなったものです。

間もなく校名が決まります

令和7年度に開校する新校に向けて、3月上旬の創設協議会にて新しい校名の案が決定され、中旬に京都市教育委員会に新しい校名の要望書が提出される予定です。すでに新しい標準服が決定していますので、来月の入学式には新入生がその標準服を着用して参列することになり、いよいよ本格的に始動していきます。

新年度には新しい校名を元に校章や校歌も選定されることになっていきます。元小栗栖小学校の敷地には工事に向けた車両が出入りするようになってきました。新校に向けては今後もみなさんにご協力いただく場面がたくさんあると思います。できる限り速やかにホームページ等で情報をお知らせできるよう努めてまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

< 今後の予定 >

3月	3日（金）	生徒会専門委員会
	8日（水）	公立中期選抜
	10日（金）	3年生を送る会
	15日（水）	卒業証書授与式
	17日（金）	公立中期選抜合格発表
	20日（月）	修了式
	22日（水）～	春季休業
	30日（木）	離任の会
4月	6日（木）	着任式・始業式
	7日（金）	入学式